

伝統文化の 源流に触れる

2025年7月27日(日)

開場：12:30から 開演：13:00から 終了予定：15:30 会場：国立文楽劇場小ホール

<第1部> 桂 吉坊 (かつあさちぼう) 落語公演会



1981年(昭和56年)年8月27日、兵庫県西宮市生まれ。
大阪府立東住吉高校芸能文化科卒
1999年(平成11年)年1月10日に、桂吉朝に入門。
2000年(平成12年)年4月から桂米朝のもとで内弟子修業。平成15年内弟子卒業
以後、古典落語を中心に舞台を重ねる。
2011年(平成23年)咲くやこの花賞大衆芸能部門受賞。
平成20年11月第3回繁昌亭輝き賞 平成22年なにわ芸術祭新人奨励賞
平成23年咲くやこの花賞 平成24年なにわ芸術祭新人賞
平成26年第9回繁昌亭大賞奨励賞受賞 平成30年花形演芸大賞 金賞受賞
令和4年大阪文化祭賞 奨励賞受賞令和5年第18回繁昌亭大賞 大賞受賞

<第2部> 「能へのいざなひ」～秘すれば花～吉野天人 (よしのてんにん)

ユネスコの無形文化遺産に登録されている日本を代表する伝統芸能「能」。
約700年もの間、絶えることなく演じ続けられている演劇は世界に類を見ません。
その「能」の歴史や特徴、演目の種類などをひもとき、「吉野天人」の実演を交えながらお楽しみいただきます。

吉野天人 (よしのてんにん)

都から吉野の桜を見に訪れた人々の前に、天女が舞い降りて花を愛で、美しく舞い戯れます。



出演
解説・地謡 吉浪壽晃 (よしなみとしあき) シテ方観世流能楽師。
昭和40年生まれ。京都市在住。父は故吉浪準一。故井上嘉介・井上裕久に師事。
東京藝術大学にて25世観世宗家故観世左近・故藤波重満に師事。
国指定重要無形文化財(総合指定)認定保持者。
吉浪松順会・吉浪壽晃能の会を主宰。京都朝日カルチャー講師。
(公益社団法人)京都観世会理事。(公益社団法人)能楽協会京都支部常議員。

シテ・吉浪和紗 (よしなみかずさ) 笛・赤井要佑 (あかいようすけ)
小鼓・久田杏海 (ひさだあみ)
大鼓・山本寿弥 (やまもととしや) 太鼓・中田一葉 (なかたかずは)

現地案内図



- ◎会場：国立文楽劇場小ホール (大阪市中央区日本橋1-12-10)
最寄駅：地下鉄堺筋・千日前線「日本橋」駅下車
7番出口より徒歩1分

◎参加無料

事前にハガキ又はメールにて住所/氏名/電話番号をご記入の上、
下記までお申込みください。満席の場合のみご連絡申し上げます。

- ◎主催/連絡先：一般社団法人老人文化会議 (大阪市西区江之子島1-7-3)

TEL：080-5340-3812 (京都事務局)

E-mail: info@eldernets.or.jp

お送りいただいた個人情報はこのイベント及び、当法人が今後開催するイベントの際のみ使用させていただきます